

2 F-2 非常用炉心冷却系機器等の状況

		設置場所	耐震 クラス	原子炉 自動停止時	原子炉自動停止 ～津波到達直前 まで	津波到達以降 ～冷温停止まで	備 考	
冷 や す 機 能	E C C S 等	RHR (A)	R/B地下2階 (O. P. 0000)	A	○	○	×	津波によりRHRs, RHRC, EECW運転不能のため使用不能 ポンプ本体については被害なし
		LPCS	R/B地下2階 (O. P. 0000)	A	○	○	×	津波によりRHRs, RHRC, EECW運転不能のため使用不能 ポンプ本体については被害なし
		RHRC (A)	Hx/B2階 (O. P. 11200)	A	○	○	×	津波により電源被水のため使用不能 ポンプ本体については被害なし
		RHRC (C)	Hx/B2階 (O. P. 11200)	A	○	○	×	津波により電源被水のため使用不能 ポンプ本体については被害なし
		RHRs (A)	Hx/B1階 (O. P. 4200)	A	○	○	×	津波により電源、電動機被水のため使用不能
		RHRs (C)	Hx/B1階 (O. P. 4200)	A	○	○	×	津波により電源、電動機被水のため使用不能
		EECW (A)	Hx/B1階 (O. P. 4200)	A	○	◎	×	津波により電源、電動機被水のため使用不能
		RHR (B)	R/B地下2階 (O. P. 0000)	A	○	◎	×→◎	津波によりRHRs, RHRC, EECW運転不能のため使用不能 ポンプ本体については被害なし RHRs, RHRC, EECW復旧後, 3/14起動
		RHR (C)	R/B地下2階 (O. P. 0000)	A	○	○	×→○	津波によりRHRs, RHRC, EECW運転不能のため使用不能 ポンプ本体については被害なし RHRs, RHRC, EECW復旧後, 3/14待機
		RHRC (B)	Hx/B2階 (O. P. 11200)	A	○	◎	×→◎	津波により電源被水のため使用不能 ポンプ本体については被害なし RW建屋より仮設ケーブル布設により給電後, 3/14起動
		RHRC (D)	Hx/B2階 (O. P. 11200)	A	○	◎	×	津波により電源被水のため使用不能 ポンプ本体については被害なし
		RHRs (B)	Hx/B1階 (O. P. 4200)	A	○	◎	×→◎	津波により電源被水のため使用不能 ポンプ本体については被害なし RW建屋より仮設ケーブル布設により給電後, 3/14起動
		RHRs (D)	Hx/B1階 (O. P. 4200)	A	○	◎	×	津波により電源、電動機被水のため使用不能
		EECW (B)	Hx/B2階 (O. P. 11200)	A	○	◎	×→◎	津波により電源被水のため使用不能 ポンプ本体については被害なし 3号機Hx/Bより仮設ケーブル布設により給電後, 3/14起 動
		HPCS	R/B地下2階 (O. P. 0000)	A	○	○	×	津波によりHPCSC運転不能のため使用不能 ポンプ本体については被害なし
		HPCSC	Hx/B1階 (O. P. 4200)	A	○	◎	×	津波により電動機被水のため使用不能
		HPCSS	Hx/B1階 (O. P. 4200)	A	○	◎	○	
		炉 注 水	RCIC	R/B地下2階 (O. P. 0000)	A	○	◎	◎→○
MUWC (代替注水)	T/B地下1階 (O. P. 2400)		B	○	○	○→◎→○	3/12運転, 3/14待機	
プ ール 冷 却	SFP冷却 (FPC)	R/B4階 (O. P. 31800)	B	◎	×	×	地震によるトリップ及び津波によりRCW運転不能のため使 用不能 3/16 運転	
	SFP冷却 (RHR)	R/B地下2階 (O. P. 0000)	A	○	○	×→◎	津波によりRHRs, RHRC, EECW運転不能のため使用不能 RHRs, RHRC, EECW復旧後, 3/16起動 (FPC補助冷却モー ド)	
閉 じ 込 め る 機 能	格納炉建屋		A	○	○	○	負圧を維持しており破損を示す徴候は認められず	
	原子炉格納容器		A s	○	○	○	格納容器圧力に破損を示す徴候は認められず	

(凡例) ◎ : 運転 ○ : 待機 × : 機能喪失又は待機除外